

ひとりの役者とひとりの演奏者による光と闇をめぐる時間

ホシハチカニオドル

一のまたたき

「東海村JCOで光を浴びた
お父さんのどこにきた白いもの」

二のまたたき

「黒い妊婦が孕むのは
世界の痛みと、そして」

三のまたたき

「土を踏みしめ、
おきろと叫ぶ声」

四のまたたき

「チェルノブイリの森の奥、
星は語りあい、踊り始める」

五のまたたき

「数億年前の星の光が
その痕を照らすなら、天使も
新しい物語を見上げるかもしれない」

2016年

7月8日(金) 19:30

9日(土) 14:00

Tremolo Angelos

トレモロ アンゲロス

大槻オサム

芝居・身体表現

谷本 仰

作曲・演奏

いのち奪われ、物言うことを許されなかった人々
彼ら彼女らの言葉や祈り、叫びや歌、踊り
それらが星となって夜空の闇に輝いているなら
それらをつないで星座を見出し
まったく新しい物語を聴き取ることができるはずだ

at シアターねこ 松山市緑町1丁目2-1

ホシハチカニオドル

初の四国公演

2010年、祝島が28年に渡って拒み続けていた「上関原発」建設の動きがにわかに活発化してきたその年、私たちは広島で原子力と人類にまつわるパフォーマンスを行いました。

それは小さな集会であり、世界の傷に対峙しに出掛ける「門」のような場でもありました。

広島役者であり身体表現を行う大槻オサムと、対話的演奏で場を構成する北九州の音楽家・谷本仰の二人による、音と身体と言葉と映像による1時間ほどのこの「作品」は、その後311を経て、語らいを始める契機になることを願って、全国で上演を続けています。

100 臨界事故、ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ礁沖、劣化ウラン弾、フクシマ。光によって産み出されてきた闇たち。世界に起こる「痛み」たち。

骸として地中に忘れ去られようとする星の声に目を凝らすことで、わたしたちの生が闇から産声をあげたことを思い出したいと願うのです。

そして、死者との連なりの中で、生き始めたいと祈るのです。

Tremolo Angelos

<http://t-etc.net/hoshichika.htm>

トレモロ アンゲロス

谷本仰と大槻オサムによる 2010 年からのユニット。『新しい天使 (アングロス・ノヴス)』というパウル・クレーの絵についてドイツの思想家 W.Benjamin は【きっと彼は、なろうことならそこにとどまり、死者たちを目覚めさせ、破壊されたものを寄せ集めて繋ぎ合わせたいのだろう】と語った。天使「Angelos」はギリシャ語で「伝令者」の意。天使は今日も、ゆらぎ震えながら (tremolo) 死者 (過去) と生まれ来るもの (未来) との言葉を、伝え結ぶだろう。

谷本 仰

ヴァイオリン弾き、歌うたい。北九州・福岡を拠点に、タンゴや即興、ジャズロック他、多様な演奏活動を展開する一方、路上死したホームレスや若松・小田山臺地に眠る無名の朝鮮人死者たちのための追悼演奏を繰り返す。演劇等との交流を経て 2007 年、広島を皮切りにソロライブ活動開始。プエノスアイレス公演も重なるタンゴ楽団「トリオ・ロス・ファンダンゴス」メンバー。リリース CD にホームレスエイドの『ゴーイング・ホーム』(2007) と『わたしのおおぞら』(2011)、タンゴシリーズ『トリオ・ロス・ファンダンゴス 5』(2014)、初のソロアルバム『Solo Dialogues』(2015) など。日本音楽療法学会認定音楽療法士、NPO法人抱撲(ほうぼく)メンバー、南小倉バプテスト教会牧師。 <http://blog.livedoor.jp/aogoomuzik/>

大槻オサム

1996 年広島で「芝居集団ワン賊」旗揚げ。アングラ・テント芝居系と呼ばれつつ、ライヴハウスや野外で自作脚本の上演を続ける。2004 年谷本仰と出会い、翌年小倉にて谷本と表現で対話する Duo シリーズ「Dialogues」で共演、作品『死者のテガミ』を上演。2005 年より身体表現ユニット「単独旅行舎」主宰。2006 年アリノネ名義で広島の Cafe Teatro Alberto にて『新しい天使』(脚本: 池内文平) を初演、半年後小倉でも上演。広島で様々なデモンストレーション、ゲリラ企画など展開中。ストリッパー若林美保と谷本仰との 3 人でのユニット「two」や牧瀬茜(踊り子)、梶山シュウ(ベーシスト)とのユニット「乱闘(みだれかずら)」なども。 <http://ebisu-daikokuya.at.webry.info/>

【上演歴】2010 年 1 月上関原発建設に異議を表明するムーヴメント「NO NUKES RELAY」の一環で 2 人による即興ライブ『ダイヤモンド・インザ・ダーク』。2010 年 10 月 4 幕 1 時間余りの舞台作品に構成し『Dialogues in the Dark ~光/身体/闇~』のタイトルで北九州「海峡演劇祭」にて上演 (Stage01 ~ 03)。『ホシハチカニオドル』と改題、2011 年 2 月広島公演 (Stage04 ~ 06)。2011 年 7 月福岡公演 (Stage07 ~ 08)。2012 年 6 月北九州公演 (Stage09 ~ 11)。2012 年 7 月広島公演 (Stage12 ~ 14)。2013 年 4 月京都公演 (Stage15 ~ 16)。2013 年 8 月広島公演 (貝原浩「風しもの村」原画展と共に) (Stage17 ~ 18)。2014 年 4 月宇都宮公演 (Stage19 ~ 20)。2014 年 7 月大阪公演 (Stage21 ~ 22)。2015 年 5 月熊本公演 (Stage23 ~ 24)。2015 年 10 月東京公演 (Stage25 ~ 27)。2016 年 1 月北九州公演 (Stage28 ~ 31)。

Stage
32nd
↓
33rd

7月8日(金) 19:30

9日(土) 14:00

■開場は開演の 30 分前/上演時間約 80 分

■終演後、下記ゲストを交えて出演者とお客の感想シェアの
時をもちます。どうぞご参加下さい。

7/8: 阿部悦子さん(「辺野古土砂搬出反対」全国連絡協議会共同代表)

7/9: 村上理恵さん(ダンサー)

会場: シアターねこ (松山市緑町 1 丁目 2-1)

予約 2500 円 当日 3000 円 学生 (小~大学・専門) 予約 1500 円

※Again 予約 = 今までホシチカを観たことのある方、その時の会場名・時期を書いてご予約頂いたら 500 円割引になります。

※Repeat 予約 = 今回の公演を両方ご覧になる場合 2 回目は 1500 円でご予約できます (学生 1000 円)。

ご予約・お問合せ tanise@har.bbiq.jp / 090-8973-5685 (村上)

Staff: 谷瀬未紀 (ピカニック)・大塚恵美子 (大猫座) 協力: 村上理恵・秦元樹 (T.C. 散歩人)



伊予鉄道市内電車 大街道駅より徒歩 5 分

赤十字病院駅より徒歩 5 分

※駐車場なし。付近コインパーキングをご利用ください。